

平成 30 年 10 月 15 日

PTA会員の皆様へ

尾山台中学校PTA会長 三木 育美  
家庭教育学級委員会 第2回講演会担当

### 平成 30 年度 第 2 回家庭教育学級を終えて

秋冷が爽快に感じられる季節となりました。

さて、学校とPTA家庭教育学級委員会との共催にて、9月28日に落語講演会、第2回家庭教育学級意見交換会が開催されました。

講演会には、全校生徒と50名程の保護者・地域の方々にご参加いただきました。

落語家の立川流 立川こはる様と立川寸志様をお招きし、「落語に学ぶ～落語を楽しむことを通して表現する楽しさを感じ取る～」をテーマにご講演いただきましたのでご報告いたします。



講演会では落語をご披露いただいた他、落語における道具を使っでの表現、表情や声色を使った表現の楽しさなども教えていただきました。子どもたちへの質問コーナーもあり、終始笑いに包まれた会になりました。

講演会後の意見交換会では参加者からの質問にも快くお答えいただき、落語界のしきたりや裏話、子どもの頃や学生時代のお話、落語家を目指すきっかけなどを話してくださいました。また子どもたちにむけても「落語の世界の厳しさもお話し致しましたが、自分のなりたいもの、やりたい事をあきらめない情熱をもって前に進んでほしい。」とお言葉をいただきました。

#### 《参加された皆様の感想》

- ・ TVやスマホ等、日常には映像ばかりあふれているので、耳で聞いて想像して笑うのは新鮮だったのではないのでしょうか。
- ・ もっと学校でこのような機会をいただき、子どもたちが日本文化に触れることが出来ると良いと思いました。
- ・ 落語が本当に好きで、その魅力を伝えたいという想いが伝わりました。下積み時代の苦労など、子どもたちに教えたいと思いました。
- ・ 落語は面白いだけでなく、人の生き方も教えられていることが多いと思います。これからも残してほしい日本文化だと思います。
- ・ 落語のように、会話形式が流れるように進む世界を日常生活でも取り入れたいと思いました。